

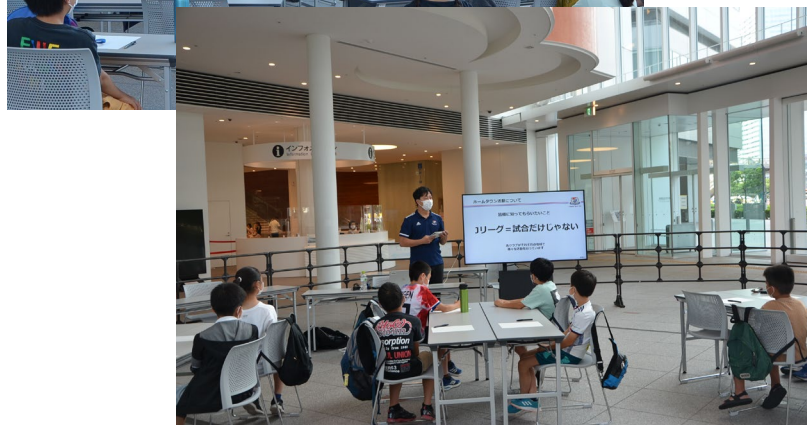
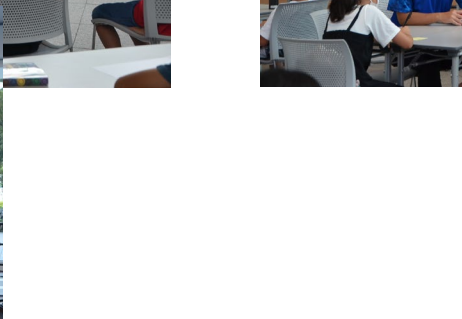
# スポーツチームのお仕事を 体験してみよう！

- ・ 団体名 横浜市市民局スポーツ振興課
- ・ プログラム実施の目的  
チームの活躍を支えるスタッフの存在やどんな業務を行っているのかを知ってもらい、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことへの関心を高めてもらう。
- ・ 実施日時  
8月17日 10-12時：横浜キャノンイーグルス 13-15時：横浜エクセレンス  
15-17時：横浜F・マリノス  
8月18日 10-12時：横浜DeNAベイスターズ 13-15時：横浜ビー・コルセアーズ  
15-17時：横浜FC
- ・ 実施会場 横浜市役所アトリウム
- ・ 参加児童数 64名 / 保護者・未就学児など同伴者数 93名
- ・ プログラムの内容  
チームのスタッフを講師に迎え、お仕事に関する講義やワークショップを実施

# 当日の様子

夏休み・お仕事体験プログラム

子ども  
アドベンチャー  
カレッジ  
2022



チームスタッフの皆さんが、どんなお仕事をされているかお話いただいたり、応援グッズやチームのファンを増やすアイデアをみんなで考えたりしました。

# 振り返り会

夏休み・お仕事体験プログラム

子ども  
アドベンチャー  
カレッジ  
2022



子どもたちからは、

「チームが地域の困りごとを解決するために、色々な活動をしていることを知って勉強になった」

「グッズを考えたり、チケットを売ったり、色々なお仕事があることを知ることができて楽しかった」

「みんなで一緒に考えたり、お話することができて良かった」

といった感想がでていました。



# プログラムを終えての感想

## ・チーム及びスポーツ振興課の感想

ご協力いただいたチームスタッフの方からは、「子どもたちが真剣に取り組む様子や、楽しそうにしているところを見られて嬉しかった」「子どもたちの発想からアイデアをもらえた」といった感想をいただきました。

チームや選手のごことは知っていても、スタッフがチームを支えているということを知らない子どもたちが多いことを改めて認識しました。

今回のプログラムに参加したことで、子どもたちがチームのことをもっと好きになってもらったり、将来の選択肢として、スポーツに対し「する」「みる」ものだけでなく、「ささえる」関わり方も考えて貰えると期待しています。

## ・学生コーディネーターの感想

イベントを運営する経験がなかったので貴重な体験ができました。

振り返りでは、子どもたちが楽しめるように進行する必要がありました。が、探究心を引き出してあげるのが難しかったです。

スポーツチームの皆さんは、子どもたちの心を開くのが上手く、参考になる部分がありました。